

中学生による再話の効果

－英文の理解度と産出情報の重要性に焦点をあてて－

東京家政大学大学院生 前田宏美

日本語発表要旨：

本発表は、日本人中学生 (30名)を対象に、再話が英文読解に与える影響について検証することを目的とする。前田(2016)では、Kai (2008)に基づき、日本人中学生を対象に再話の効果を検証した。実験参加者は、再話して読解テストを受ける手順と再話なしで読解テストを受ける手順に取り組んだ。①読解テストの得点によりテキスト理解度を測り、②再話の内容を Idea Unit に基づいて分析し、再話がテキストの重要な部分を読み取るのに影響を与えるか検証したところ、①下位群は再話により英文の理解度を高め($\eta^2=.01$)、②上位群はテキストのより重要な部分を再話しており($\eta^2=.22$)、一部再話の効果が見られた。そこで本研究では、他の日本人中学生(30名)を対象に一部改良を加えた手続きで実験を行い、再話の効果を検証したところ、上位群・下位群ともに読解テストでは再話の効果は見られず、下位群はテキストのより重要な部分を再話しており、再話の効果はわずかながら見られた。